

資料1 意識調査 1 教員向けアンケート

(1) アンケート項目

平成17年1月

スーパーサイエンスハイスクール事業の2年目が終わろうとしています。昨年と同内容のアンケートを実施しますのでご協力ください。

質問0 該当する項目に を付けてください。

担当教科(1 国語 2 数学 3 英語 4 地歴 5 公民 6 理科 7 芸術 8 家庭 9 保健体育 10 情報)

年齢 (1 30歳未満 2 30~34 3 35~39 4 40~44 5 45~49 6 50歳以上)

本校における勤続年数

(1 3年以下 2 4~6 3 7~9 4 10~12 5 13~15 6 16年以上)

回答の仕方について

質問1・3・4・5・7については以下の項目について、「1 思う 2 どちらかというと思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない 6 わからない」のいずれかで教えてください。

質問1 日常の授業における生徒の実態についてお尋ねします。

生徒の学力レベルが下がってきた。 ()

集中力のない生徒が増えてきた。 ()

家庭学習が不十分である生徒が増えてきた。 ()

受験に無関係な場合は、学習意欲の減退が見られる生徒が増えてきた。 ()

その他(自由記述)()

質問2 本校において授業を実施するうえで特に目標とすべきことはどんなことだと思いますか。下の項目の中で当てはまるものの中から二つ選んでください。()

その領域の興味・関心を高めるべきである。

基礎的な学力を中心に育成すべきである。

論理的な思考力・表現力を育成することを中心にするべきである。

実験・実習・演習を中心に学習内容の理解を深めるべきである。

進路実現のため受験対応の力を育成することを中心にするべきである。

その他()

質問3 授業を実施する上での課題・支障等についてお尋ねします。

教材研究のための時間は十分取れている。 ()

自分の指導方法は本校生徒の実態にあっていて、効果が上がっている。 ()

本校の教育施設、教材教具・実験器具などは、充実している。 ()

その他(自由記述)()

質問4 16年度も北海道大学の教員による授業をたくさん実施しましたが、生徒への影響についてどのようにお考えですか。

自分の担当教科の授業に対する興味・関心が高まるだろう。 ()

理数系の授業に対する興味・関心が高まるだろう。 ()

発展的な学力の育成が可能である。 ()

進路実現に向け、内的動機付けや意識付けとしての効果が期待できる。 ()

意義をあまり感じない。 ()
その他 (自由記述) ()

質問5 16年度行ったSSH関連の放課後講義について、部活動への影響の有無をお尋ねします。

SSH講義を加味して活動日程を組んだ。 ()
SSH講義によって、部活動に支障が生じた。 ()
SSH講義(内容)によって、部活動への参加意欲が増した。 ()
その他(自由記述) ()

質問6 SSH事業を通して特に身に付けさせたい力はどのような力ですか。以下の項目の中から一つだけ選んでください。 ()

論理的な思考力や創造性を身に付けさせたい。
幅の広い教養を身に付けさせたい。
学問研究についての方法を身に付けさせたい。
進路選択の自己決定力を身に付けさせたい。
その他(自由記述) ()

質問7 16年度SSH事業の中に盛り込まれた下記のことからについて、その必要性についてどのように考えていますか。

大学・研究機関と連携し思考力・創造性・独創性を高める教材開発。 ()
他の研究指定校や先進校との生徒・教員の交流を行う。 ()
大学の公開講座やゼミ等への生徒の積極的な参加を図る。 ()
研究者・技術者の基礎的資質を育むための理数系部活動の充実を図る。 ()
大学や研究施設を中心とした見学・体験的インターンシップの実施 ()

ご協力ありがとうございました。